

## 第4回行政支出点検・行政改革推進委員会（11/20開催）における 事務事業評価（事業レベルのPDCA）への御意見について

	所管	子育て若者応援部 若者活躍・男女共同参画課
	事業名	やまがたウーマノミクス加速化事業費
	御意見	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業目標は効果を求めるためのもの。事業の進捗状況に応じて軌道修正するなど、年度内に事業の進め方を見直しするべきであった。</li> <li>・ 男性の育児休暇など、制度はあっても取得できない状況がある。男性は育児休暇を取れないなどの無意識の偏見が存在している。なぜ取組みが進まないか、根本の問題を解決し、企業も行政も意識を変えられるよう、研修会を開催するなどの取組みを進めてほしい。</li> <li>・ 活動実績、成果実績が伸び悩んだようだが、十分に活動されたと思う。これまでの取組みから次のステージに移る段階になったと考えれば、今回の事業の見直しは、妥当な方向性と考えられる。</li> <li>・ ようやくノウハウの蓄積や課題などが見えてきたところだと思うので産業労働部に移管された後も、グレードダウンすることなく続けていただきたい。</li> <li>・ 女性も一緒に社会を築いていくことが大切であるということを高校生の時から伝えていくことが重要ではないか。</li> </ul>	

	所管	産業労働部 商工産業政策課等
	事業名	人材確保・生産性向上推進事業費
	御意見	
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT人材の確保についても支援していただきたい。</li> <li>・ 山形にどういった企業があって、どのような人材を求めている、どのような企業理念で経営しているかなどについて、まだまだ周知されていないので、高校生との交流会の開催を続けるべきではないか。 また、業務改善奨励金など、山形県の中小企業を支援する仕組みを継続していただきたい。</li> <li>・ 成果指標を製造業の付加価値額に限定しているが、各産業別の生産性を見たうえで重点事業を決めるべきではないか。 また、人材確保と生産性向上は同一軸では起きないと考えられるので、人材確保と今後のAI、ICTの活用方針をしっかりと整理していくことが重要である。</li> <li>・ AIアドバイザーが必要なのは労働生産性が高い製造業ではなく、労働生産性が低い宿泊業、飲食業などのサービス業ではないか。 また、山形の企業や産業の魅力を発信する機会を設けることが大事だ。YouTubeなどで山形に帰ってきたい、山形で自分の技術を発揮したいと思えるような情報を発信すべきではないか。</li> </ul>	

3	所管	県土整備部 河川砂防課
	事業名	河川流下能力向上緊急対策事業費
	御意見	
	・ 水害等で被災した場合、地域によっては建物の再建が建築基準法上不可能な地域もあるので、保護の観点も踏まえて対策を進めてほしい。	